

「高校生のための学びの基礎診断」の利活用の状況等について

今年度から本格実施となった「高校生のための学びの基礎診断」（以下「基礎診断」という。）について、今後の「基礎診断」制度の改善等に資する観点から、今年度における「基礎診断」の利活用の状況や、基礎学力の定着や学習意欲の喚起を促すPDCAサイクルの構築・確立に向けた各高等学校の取組状況等についてアンケートを実施し、取りまとめたので公開します。

1 調査内容

- (1) 調査期日：令和元年5月31日現在
- (2) 調査対象：国立、公立、私立の高等学校設置者
(高等学校の取組状況に関する調査項目を含む)
- (3) 調査項目：認定ツール利用予定、認定ツールの周知方法、設置者独自の方針、認定ツール選択にあたり重視する項目
- (4) その他：本アンケートへの回答は任意

2 有効回答数

設置者数：1,024件(国立10件、公立103件、私立911件)
学校数：4,283校(国立16校、公立3,235校、私立1,032校)

【参考】学校基本調査(令和元年5月1日現在)の高校数(中等教育学校含む)
国立19校、公立3,582校、私立1,340校

3 調査結果の主な概要

- 「基礎診断」認定ツールを利用する予定があるが3,030校、
 - 「基礎診断」認定ツールを利用する予定が無いが1,253校、
(うち「学校設置者が作成した測定ツールを活用する予定」が215校、
「国の認定したツール以外の民間ツールを活用する予定」が380校、
「その他」が612校)
- であった。

「高校生のための学びの基礎診断」の利活用の状況等 調査結果

I. 学校の状況

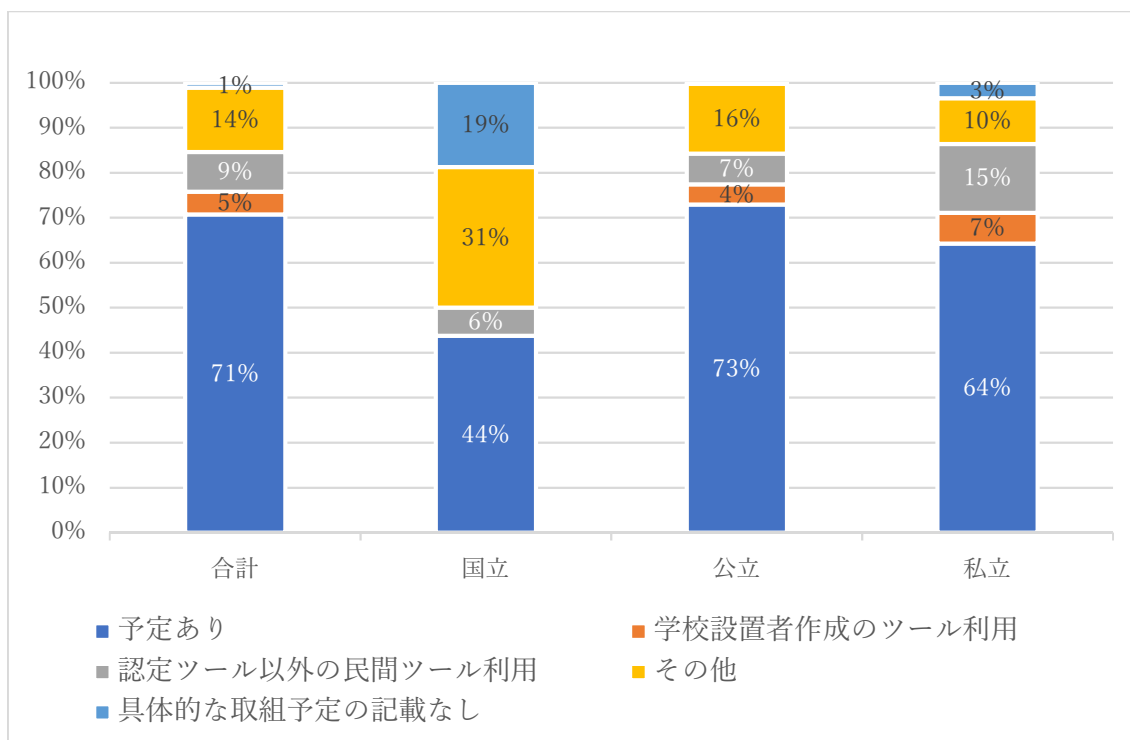
1-1 令和元年度における「基礎学力の定着」への取り組み

(認定ツール利用予定の有無及び認定ツールを利用しない場合の対応予定)

	計	国立	公立	私立
今年度中に「基礎診断」認定ツールを利用する予定がある	3,030	7	2,360	663
「基礎診断」認定ツールを利用する予定がない	1,253	9	875	369
学校設置者が作成した測定ツールを利活用する予定	215	0	144	71
国が認定した民間ツール以外の民間のツールを活用する予定	380	1	221	158
その他※	612	5	502	105
無回答	46	3	8	35

※「その他」には、

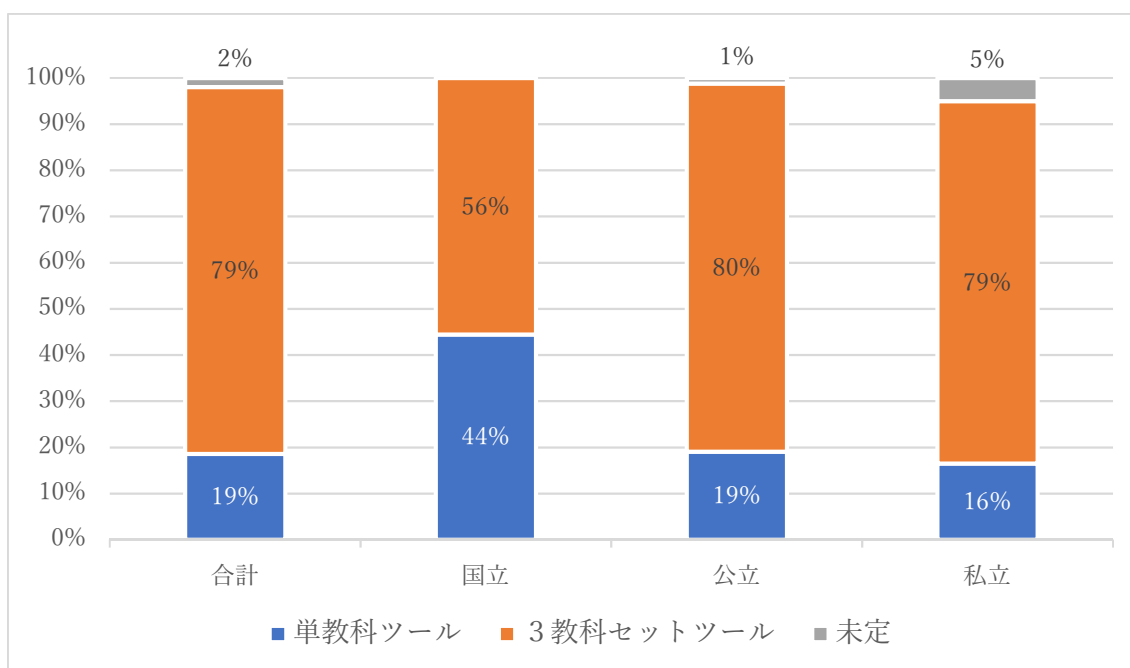
日常の授業及び定期テスト等の学校活動を通して基礎学力の定着を図る。
現在の教育方法で十分である。などの回答があった。



1-2 今年度利用する測定ツール

	計	国立	公立	私立
単教科の測定ツール	610	4	500	106
3教科セットの測定ツール	2,604	5	2,094	505
未定	64	0	32	32

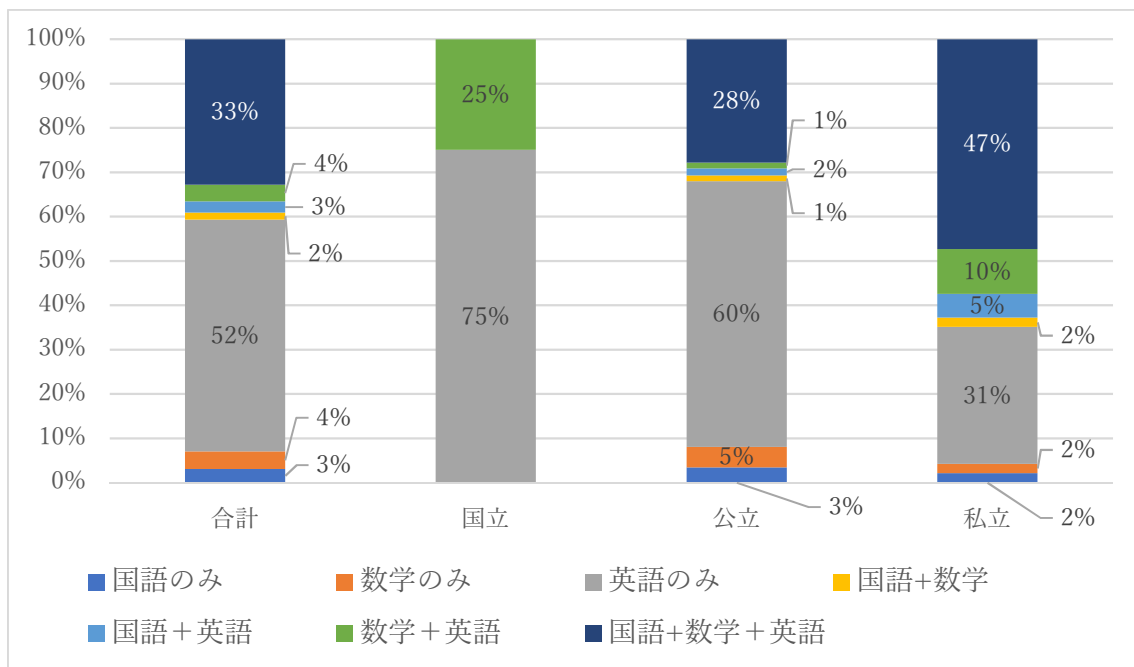
※同じ学校でも学科によって異なる測定ツールを使う場合等があるため、回答数は認定ツールを利用する予定があると回答した学校数とは一致しない。



1-3 単教科の測定ツールを利用すると答えた学校が選択したツールの組み合わせ

	計	国立	公立	私立
国語のみ	22	0	18	4
数学のみ	28	0	24	4
英語のみ	373	3	312	58
国語+数学	11	0	7	4
国語+英語	18	0	8	10
数学+英語	27	1	7	19
国語+数学+英語	234	0	145	89

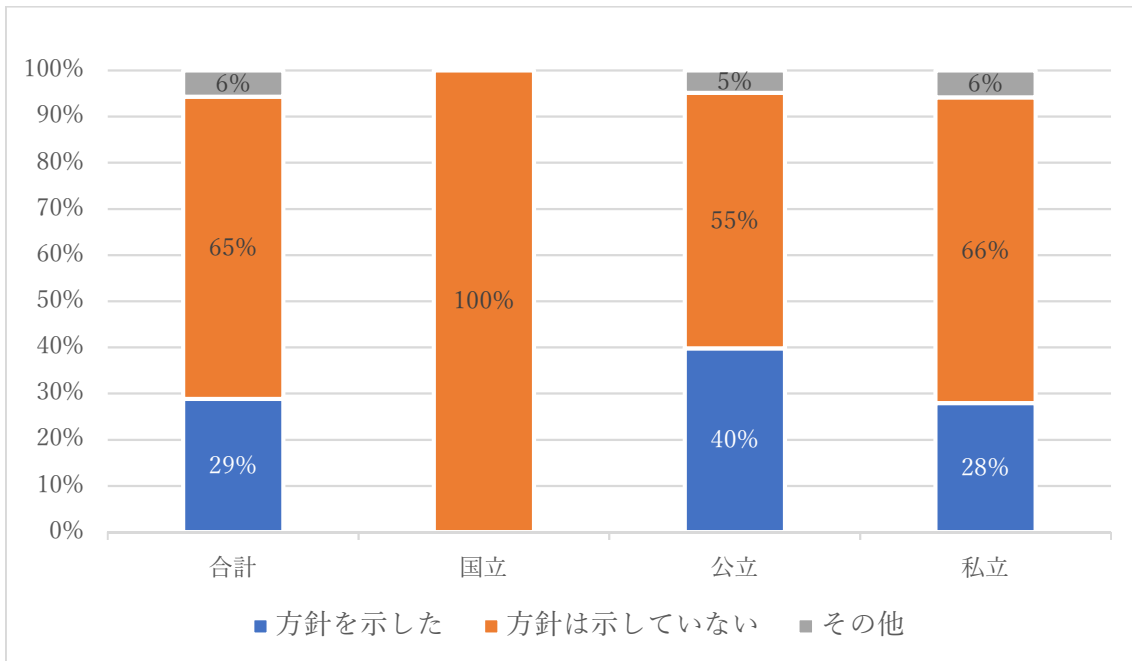
※同じ学校でも学科によって異なる測定ツールを使う場合等があるため、回答数は認定ツールを利用する予定があると回答した学校数とは一致しない。



Ⅱ. 学校設置者用アンケート

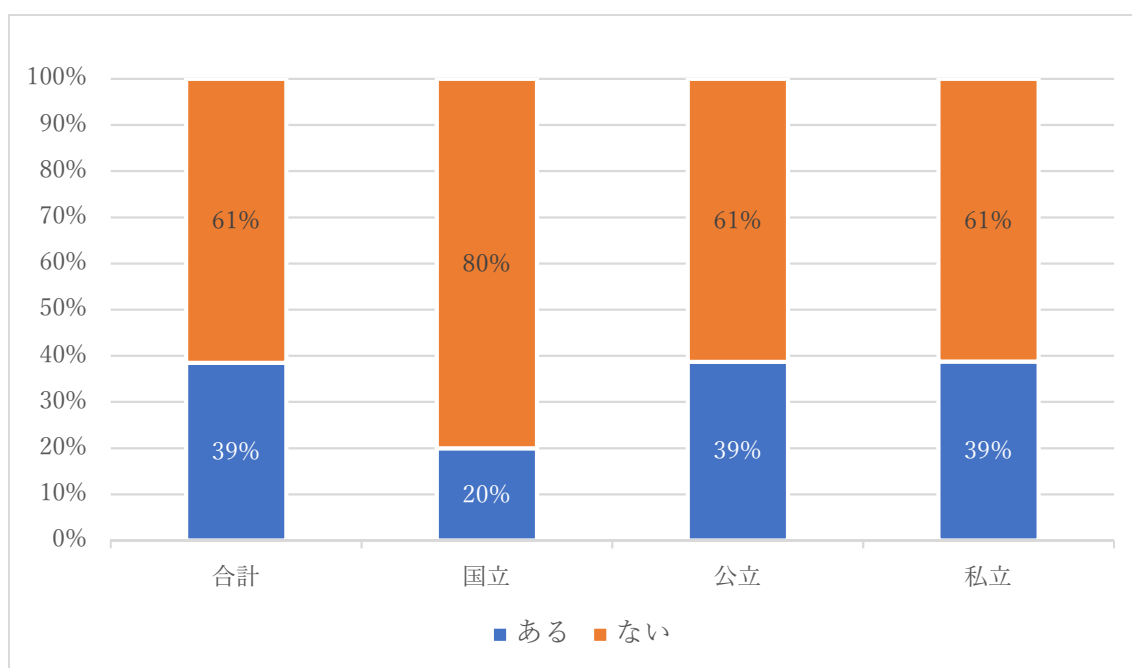
2-1 「基礎診断」認定ツールを周知するにあたり学校設置者独自の方針を示した設置者数

	計	国立	公立	私立
「基礎学力の定着」や「基礎診断ツールの利活用」について、学校設置者としての方針を示した上で、学校等に対して周知した	295	0	41	254
特に学校設置者としての方針は示さず、文部科学省からの通知文書の内容を管下の高等学校等に対して周知した	669	10	57	602
その他	58	0	5	53
無回答	2	0	0	2



2-2 認定ツールを周知するにあたり「方針は示していない」または「その他」と回答した学校設置者における、今後「方針」を定める予定の有無

	計	国立	公立	私立
方針を定める予定がある	280	2	24	254
方針を定める予定はない	447	8	38	401



3-1 「基礎診断」ツールを選択するにあたり特に重視する項目

	計	国立	公立	私立
学校の教育目標や生徒の実態と合致していること	1,958	9	1,342	607
生徒の学習改善につながる結果提供が行われること	2,248	7	1,511	730
教員の指導の工夫・充実につながる結果提供が行われること	1,454	5	973	476
事前事後の学習教材が充実していること	698	0	444	254
結果提供が迅速であること	214	1	129	84
結果提供にあわせ、学校単位で事業者からの説明会が行われること	334	0	254	80
低廉な価格で受検できること	754	5	533	216
受検にあたり教員の負担が少ないこと	416	3	280	133
その他	70	0	49	21

「基礎診断」ツールを選択するにあたり特に重視する項目（合計）

